



かいのき児童クラブ便り



子どもたちの豊かな学びのために



H28年度 夏 第1号

H28. 8. 22

ゲームにはないおもしろさ かまぼこ板落とし

この夏、かいのきクラブでは“かまぼこ板落とし”が大ブレイク。

連日続く猛暑対策もあり、室内でも遊べるもということ、AMIで教わったかまぼこ落としという伝承遊びを伝えると、あっという間にひろがりました。

かまぼこ板落としは2つのチームに分かれ、頭や胸など順番に板をのせて相手チームまで運び、上から落として相手のかまぼこ板を倒していく簡単な遊びですが、意外と難しい。高学年と低学年、また男子と女子など誘い合って、今まで遊んだことのなかった子どもたちとも遊ぶ姿が見られるようになりました。かまぼこ板を10人分並べ、「今日はこれだけで遊ぶよ」と仲間をどんどん広げています。あちこちのグループで成功すると「わあー！ やったー！」と大きな歓声が聞こえてきます。

一度失敗しても成功した人が自分の代わりに相手の板を倒したら、その技はクリヤーしたことになるので、仲間との連帯も強まります。「よし、かかってこい」と相手と言えば「がんばろうな。失敗しても味方がやってくれるよ」失敗すると「すべてはKくんにかかっている！Kくん、がんばって！お願い！」と頼めば「大丈夫！」と返すKくん。

しかし、夢中になって遊んでいるとき、急にもめごとが発生することもあります。板が倒されないように足で囲ったとか、相手がルールを勘違いしていたから注意したのに、勝ちたい一心でチクチク言葉を返された等々。ぶつかりあいの中で、お互い泣いたり、怒ったり…双方の感情のやりとりで、他の子の心に出会い、自分と同じように相手にも要求があることを肌で感じることができます。こんな時は、時間を十分にかけ、できるだけ自分の思いが表現できるよう心がけています。子どもたちの発達仲間とのトラブルや葛藤を体験しながら促されていくのでしょうか。

デジタルゲームでは味わうことのできない生の人間関係。やりとりを楽しみながら一緒に喜んだり、くやしがりたり…子どもたちはそこに魅力を感じているのではないのでしょうか。いわゆる“ゲーム”にはないおもしろさをしっかり味わってほしいと思います。

(文責 土田)

『謝罪会見！？』 自分たちで責任をとる！！

2回目の調理の日 メニューは、ぶっかけうどんでした。大きなおなべにお湯を沸かしうどんをゆでるということもあり、朝の会で室内では、バタバタしないという約束をみんなでしました。当番さんは、手際よく準備をしてきてくれました。涙しながらネギを切りました。するとどこからか帽子が飛んできて、ネギを入れてあったボールの中へ……！！『あ～っ！！』無言の時間が流れます。帽子を投げた方も投げられた帽子の持ち主も気まずそうにしています。当番さんは『どうするう～??』確かに帽子は、汗と泥にまみれたお世辞にもきれいな帽子ではありません。うどんの具も天かすとネギと鯉節というシンプルなぶっかけうどんです。ここでネギがなくなると青みもなく見るからにさみしいぶっかけうどんになってしま

います。

そこでどうするべきかと指導員も子どもとも考えました。ネギを洗い使う案もありましたが、お湯がこぼれて誰かがやけどをしたわけでは、ありません。今後も夏休み調理の日があります。思い切って『不衛生な帽子が入ってしまったネギは、処分しよう!!』と決めました。その日は、全員でシンプルなぶっかけうどんを食べることになりました。『いただきます。』をしようとしたその時さっきの4人がみんなの前に立っています。『どうしたん?』とたずねると『今から謝罪会見をします。うどんの中に帽子を入れてしまってネギを食べられなくしてしまいすみませんでした。ごめんなさい。』と涙を浮かべ反省の弁をのべているのでは、ありませんか。4人とも真剣です。みんなも真剣に聞き許してくれました。その後調理の日には、落ち着いて取り組んでいます。あやまれれば済むわけでは、ないのですが、自分たちのしたことの責任をとる。相手に反省していることを伝えるというコミュニケーションは、上手くできたように思いました。

関わり合いの中でいろいろなドラマが生まれ、この話もきっとかいのきの伝説となり受け継がれていくのでしょうか。

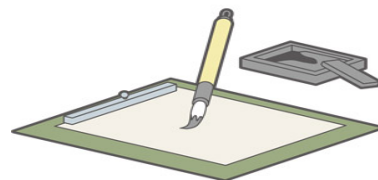
『よひせん教室』

『よい字を書こうと思わなくてもいいです。よい姿勢で。』と山本真理子先生が声をかけてくれました。ポイントは、『筆をたてて。ひじを張って。嫌いプン!!って肘鉄するように勢いよく!!』ととてもわかりやすく特に習字の授業をまだしていない低学年は、素直にのびのび楽しみながら書くことができました。姿勢を良くするとほんとに集中力もバッチリです。いつもは、動きを止めたり、おしゃべりをとめるのが苦手な子も真剣そのものです。ととてもがんばって書いていました。先生の声がかかる前に字を書くことを楽し



みながら、何枚も何枚もはりきって書いているのがとても印象的でした。

バタバタした日常にこんな時間がとても大切なんだなと感じたひと時でした。



保育報告会について

9月10日(土)に予定していました保育報告会を夏祭りのときに行うことになりました。夏祭りは、子ども達が企画・準備し実行します。保護者にその様子を見ていただき報告会とさせていただきます。17:00~の夏祭りの予定です。20時から30分間を保育報告会とし、この夏の写真などを見ながら説明しようと思っています。つきましては、出欠をよろしくお願いします。(〆切 8月25日)

保育報告会に参加します。

保育報告会参加しません。

名前 ()